

●みなさんありがとう

私は主人と違って機械やメカにとってもうとく、おまけに方向音痴です。そんな私が先日車に乗って友人宅に向かっていた時の事です。



最近やっと我が家の車のナビの入力方法を覚えたばかりで自分で友人宅を入力し、さっそうと高速道路を飛ばして走っていました。ナビの指示通りに運転していたものの方向音痴の私は道を間違えインターを降りようとしたところ……。

車のボンネットからもくもくと煙が上がり車が道路のまん中で止まってしまいました。私の頭は真っ白になってしまいました。後続車が私の後に連なりどうやら私が原因で渋滞になってしまいそうな様子です。

あわてて主人に電話すると「ハザードをつけてとにかく車を降りて謝りまくりながら誰か男性に手伝ってもらって車を端に寄せなさい。どなたなりなの？レッカーを呼ぶから。一端切るね。」私は必死に助けを求めると後ろのトラックの方が押して下さりようやく端に寄せる事ができました。主人にはどのあたり？と聞かれたもののわかつていれば迷子になっていないわけ……。

再び主人から電話が来ました。「じゃあねシフトはPに入っている？じゃあエンジンのセルを回してエンジンかけてこらん。」えー爆発するかも！私は怖いからいやだと言いました。

「絶対大丈夫だからとにかく言うとおりにエンジンをかけてこらん。」キーを回すとエンジンがかかりました。主人は「じゃあインターを降りて、修理屋さんを探さない。もし又止まったらその場で端に寄せてその住所を聞きなさい。レッカーを送るから。」私は夢中で運転して修理屋さんを探しました。やつ

とみつけたものそのこでは修理ができないという事でした。

呆然と立ちつくす私の姿をサービスの方が見るにみかねて「それでは我々がよく依頼する業者を紹介しましょう。」と連絡して下さいました。

とても親切な方で事情を説明すると「奥さん間違えてインターで降りて良かった。高速運転中だったら大変だったよ。じゃあうちの車乗って行つていいよ。」と言ってくれました。

しかし、方向音痴の私は「あのーナビが無いとここからは運転できないのですが……。」というところか、じゃあしょうがないなうちの提携しているレンタ



カー屋にナビ車手配させるよ。」するとすぐにレンタカー屋さんが車を持って来てくれました。必要書類にサインをして車のキーをもらいました。私は更にずうずうしくも「あの……ナビの使い方がわからないので入力していただいてもいいですか？」みなさん嫌な顔一つせず親切に対応して下さいました。

結果、私は友人の家にも30分遅れただけで到着が出来ました。そして出てきた見積もりも破格の安さで、レンタカーも破格の安さ。

あー私がついてる。みんな良い人だったみなさんのおかげだ。ありがとういなあと主人に言うところはおまえが図々しくて愛想がいいだ

けだよ。みんな単なるすけべ親父だったんじゃないのか？」ですって……失礼しちゃう。みなさんありがとうごさいます。(横浜市/Y・I)

●花の手入れをありがとう

私は果樹や草花が大好きです。でも、仕事に追われて自分では手入れをする時間がありませんので、すべて妻がやってくれ、私は見て楽しむだけ。小さな家の小さな庭には、季節の移ろいと共に小さな花が咲き果実が実をつけ私を楽しませてくれます。

夜は米のとき汁を鉢植えの植木に声をかけながら丁寧に撒いてやり、朝は萎れた花弁を採っていつもきれいに清々しい気分させてくれます。いまでは、家の前を通る人たちも楽しみにしているようです。

朝の出勤のとき、玄関わきに咲く花に今日一日のパワーがもらえているように思います。子供を育てるように、人を育てるように、妻の何気なくやっている草花の手入れに、優しさを教えられます。いつも美しい草花を楽しませてくれてありがとう。(東京都/Y・H)

●猫のサムちゃんありがとう

15年以上も前、サムは我が家のガレージにやってきました。どこかのお宅の飼い猫だったようですが、飼い主は引越してしまつて捨てられたようです。

おなかですいているようなので我が家の飼い猫(家猫)の餌をあたえらるとおいしそうに食べて、それ以来サムはガレージに住み着きました。自由きままなサムちゃんは我が家の飼い猫のランちゃんとは対照的で、ランはうら

やましそうに窓からサムを見ていました。サムは外出して居ることも多いのですが、たまに帰つて来ると、鳥を捕まえて得意そうにくわえてほめてもらいたいようにゴロゴロと体をすり寄せてきます。私は思わず悲鳴をあげたものです。たまに喧嘩をして傷を作つて帰ってくる事もありました。



その度に治療をしてあげたり……。手のかかる我が子同然の存在だったので。とても明るい性格で甘えるのも上手。そして決して家の中には入つてこようともしませんでした。私は寒い冬には小屋にヒーターを用意して、門扉にはサム用に入入りできるドアもつけてあげました。そんなサムが昨年夏ぐらゐから食欲もなくなり、ぐったりする事が多くなりました。

病院の先生はサムは20歳ぐらいで人間にすると80歳は優に超えた老人なので老化ですねと診断してくださりました。それ以来、毎朝近所のおねえさんをお願いして病院にサムを連れて行つてもらい点滴を受けさせるのが日課となつていました。

しかし、介護の甲斐も無く、サムは日に日に弱つて……。先日亡くなつてしまいました。病院で息を引き取る際に先生が、「サムちゃんは幸せでしたね。ふつうならばとくに亡くなつていましたよ。みなさんに親切にしてもらつて幸せだったと思つていますよ。」と言つて下さいました。今でもサムがガレージで餌をねだる声

がするような気がします。私たち夫婦をいやしてくれてありがとう。そしてサムに係わつてくださった先生、そして、毎朝病院にサムを連れて行つて下さつた近所のおねえさんありがとう。(渋谷区/M・I)

●料亭のおかみさんに
ありがとう

先日父の講演の鞆持ちで博多へ行き
ました。飛び立った飛行機の窓から夜
景をみながら父が西鉄ライオンズ時代
の思い出を話して聞かせてくれました。
高校生で西鉄に入団した父は故郷の
水戸を後にしました。夜行列車に揺ら
れてたどり着いた博多は異国の地のよ
うに感じられてプロに入団したとはい
え若干18歳の父は心細かったそう
です。

入団してすぐ西鉄球団の合宿所に入っ
たそうです。そこには鉄腕といわれた
稲尾選手も一緒だったそうです。父と
稲尾さんはすぐに友達になったそう
です。稲尾さんと父は新人ながら大活躍
をして一軍を不動のものとしていたの
で合宿所での先輩たちの妬みと虐めは
すごかったらしいです。

お金は盗まれるのは当たり前。下駄
に釘や画鋲を置かれたこともあるそう
です。試合前に新しいアンダーソック
スやアンダーシャツが盗まれるのだけ
は悔しかったそうです。「そのおかげ
で用心深くなくて、それは野球のプ
レーにもいかすことができたよ。」

「稲尾はのんきなお人好しでさ。ある
日、いつものように風呂に入る前に
俺は寮の帳場にコネつけて財布を預かっ
てもらうのが常だった。俺が風呂入っ
ていたら後輩で新人の稲尾が入ってき
てニコニコしながら言うんだ。」「先
輩背中流しますよ。」「おまえ随分す
ぐに風呂に来たな。財布とか貴重品は
どうした?」「え?部屋に置いてきま
したけど。」「二人で部屋に戻る
と案の定稲尾さんの財布はなかったそ
うです。そんな毎日父は異国の地と
いうこともあって少しホームシックに
なったそうです。」

「親父は病気で倒れてた
し、毎月故郷の兄弟に仕
送りしなければならなく
て余分なお金が無くて寮
を出るわけにはいかなか
つたんだよ。つらかったよ。」
と目をうるませます。

「博多の中州に料亭があつてさ、そ
こには40歳ぐらいの女将さんがいた
んだ。ご夫婦で料亭を切り盛りされて
いた。それは俺をかわいがってくれて
さ。ただで飯を食わせてくれてあいて
いる部屋に住ませてくれたり、挙げ句
ごひいきの後援者の方まで紹介してく
れた。俺は毎晩後援者の方のおごり
で飯だ酒だだった。おれのホーム
シックはすっかり癒されたよ。試合で
活躍できたのは女将さんのおかげさ。」
遠くを見るように父は続けます。

「今はもうご主人も女将さんも亡く
なつたけど。博多の中州のお寺さん
にご夫婦のお墓があつてね。今でも博
多に来たときには墓参りの後に娘さん
夫婦がやってくる。いずみ」つという料
理屋へゆくのさ。今回は時間がなかつ
たけど、次回はおまえも連れて行って
やるよ。」

そんな話をしてる間に飛行機は羽
田に到着しました。父にとって博多は
第二の故郷のようです。
(ありがとう不動産 豊田泰由)



●鉢巻を拾ってくださった方に
ありがとう

私は最近メタボで医者からもカロリ
摂取を気をつけるように言われていま
す。昨年から7キロ近く体重が増えて
しまいました。

毎年出ているお祭りのときに、さら
しを巻いてその上に半被と鉢巻を締
めるのですが今年は着付けの方が念入

りにきつくサラシをまいてくださいま
した。腹周りのお肉のせいできつくて
身動きすら出来ない状況でした。歩く
にも、足袋を履くにも前傾姿勢がと
れずにドラム缶状態です。苦しいしお
腹にガスはたまつて来るし・・・。
隊列に向かつて歩いていて地べたに
鉢巻を落としました。拾う
のに難儀をしているのを見かねた通り
がかりの女性がニコニコわらいなが
ら拾ってくださいました。そのときば
りはその女性が弁天様にみえました。
そして始まった万灯行進。体重が重
い分バテバテ・・・膝はガクガク隊列
行進の途中で気が遠くなりそうにな
りましたが、後ろに居た万灯班の仲間が
喝を入れてくれて我に返る事ができ
ました。

ぼーつとした意識の中、鉢巻を拾っ
てくださった弁天様が「来年は痩せま
しょうね。」とニコニコ笑っているよ
うな気がしました。
(渋谷区/Y・T)

●旗照夫さんありがとう

この間、友人のご夫妻とご
両親に誘われて往年のジャズ
シンガーである、旗照夫さん
のディナーショーに行つてき
ました。



友人のご両親が旗さんの古くから友
人だったので旗さんは私とも仲良く話
してくださいました。前の席には女優
さんもういらつしたり。歌もすばら
しく懐かしい曲ばかりだし、食事もお
いしかったです。

「これで、2年は寿命が延びたね」
と、後日友人と話しました。
とてもすてきな時間をありがとう。
(目黒区/SUZUKI 86歳)

【携帯 Deショット】
久しぶりに見る撫子...と近づいて
みると『ダイアンサス』と表示され
ていました。カーネーションも同
じ仲間だというのは花卉の周りのギ
ザギザの切れ込みで納得できました。
花言葉は「苦い追憶」……。



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から
沖繩までの友人知人
から寄せていただい
た「ありがとう」の
ことばに因んだ思
出を、作文、詩、俳
句、短歌、写真、絵
画などを掲載します
作品は編集部まで
お送りください。投
稿いただいた方には、
ささやかではござい
ますが、「ありがとう
マガネ拭き」をプリ
ゼントさせていただきます。
皆様からのご投稿
お待ちしております。
また、「ご自分のお
名前や事業所名を
刷り込んで、身近
な方やお客様へ配
布されてはいかが
でしょうか。ご意
見やご提案がござ
いましたら是非お
聞かせください。



- 携帯電話の方はQRコードから
- パソコンの方は下記のURLから
- メールでのご投稿は...

http://1039.seesaa.net/
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部